

週 報

1990年2月11日 降誕節第7主日

信教の自由を守る日

巻 10 46号

1989年度教会主題

「神の言葉に従う」

聖句 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」……アブラムは主の言葉に従って旅立った。

創世記12章1節、4節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂の建築計画を完成する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 木火 吉 隆 友佳

これからの政治は国際化に対応できなければならない。財界は、サラリーマン社長が多いため将来を見通した展望を持ってないかも知れないが、言葉の通じない自民党政治にアメリカをはじめ諸外国の苛立ちを知っているはずである。又、資本は次の資本を生み出さなければならないとする考えだけでは国際的な孤立化を招く。

日本の官僚は優秀な行政能力を持ち安心できるそうだが、それは反面、国民の生活レベルを下げて世界史的規模の政策を打ち出す政治家を育てない。世界は激動し地球は危うい。物の見方を根底から変える政治が求められている。

坂本義和氏は賀川豊彦記念講座で次のような講演をしている。「いま最も基本的な課題は…モノ・カネをどう扱うか、ということの前に、人間そのものは一体どうあるべきかを考え直すことではないでしょうか。(中略)自分自身を変えることを通じて考えていかなければならない、そういう世界に今日生きています。」

一牧師室から一

衆議院議員の選挙戦がたけなわである。今回は与野党の話し合いでうやむやの内に解散し、選挙の争点がはっきりしないまま突入した。消費税、リクルートと政治改革、農産物の自由化、体制の選択などが論争されている。

私は政権交代を期待し、その土壌作りが急務だと思っている。議会制民主主義は政権交代があっはじめてよりよく機能する。自民党が戦後の窮乏からの回復をもたらしたことは事実で、それなりの評価はできる。しかし、四十数年にわたる長期政権は、腐敗・墮落しきった。確かにタテマエは選挙による合法政権だが、ホンネは金権にまみれ、自浄能力を失った。国民も安泰をむさぼり人間としての良心を捨てたように思われる。